

平成27年度 事業計画書

平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 多摩胃ろうネットワーク

1 在宅(往診)胃ろう交換;の取り組み

平成24年度より多摩胃ろうネットワークでも一部の医師によりペグスコープを用いた往診による在宅での胃ろう交換の試行を開始した。25度は3医師が参加し年間交換件数327件(33+102+192)であった。在宅での胃ろう交換が可能となることで、交換のために医療機関を受診するという患者の身体的・時間的負担及び介護者・家族の人的負担や移動費用、及び医療機関のマンパワーなど多くの負担軽減につながる事が示唆されている。26年度は継続して在宅胃ろう交換に取り組んだ。平成26年度は在宅胃ろう交換実施医師が八王子・多摩の各地区で各1名が参加した。今後も医師間の意見交換などにより一層、安全な在宅胃ろう交換の推進を目指す。

2. 市民公開講座等のセミナー開催

多摩地区・八王子地区において市民公開講座を開催する

一般市民対象の市民公開講座を開催しエリア内に胃ろうの知識とケア能力の向上、摂食栄養管理の質の向上を図る。

3. 摂食嚥下班会議の実施

「嚥下評価から経口摂取まで」患者及び家族の支援体制の基盤構築に繋げている。

問題事例の共有・セミナー開催の検討・スマートホンアプリケーション開発に向けた意見交換を実施し有志において実行委員会(仮称)を立ち上げた*。・栄養剤の勉強会、などにより、参加者個人のスキルアップおよび在宅療養者とその家族の支援体制・関係者間の情報共有を初めとした地域の連携強化をめざした。(議事録はホームページに掲載)

* 27年度よりNPO多摩胃ろうネットワークとしてmamomサーバー利用し、胃ろうと摂食嚥下障害に特化した情報共有・在宅チームの見守り支援システムの実用化を目指して協議する。

4. ホームページ活用により情報共有と胃ろうと摂食嚥下障害の正しい知識の普及啓発を継続する。

5. 「地域連携パス会議」においては、引き続き関係者間での情報交換や賛助会員からの新しい栄養剤等の情報提供や意見交換の場となり、相談窓口への相談内容の共有の場となり会員間の連携強化を図る。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
胃ろう造設と管理に関する事業	在宅胃ろう交換の普及・啓発事業 胃ろうの基礎知識と造設(手技)交換並びに術前術後の管理レベルアップ	多摩胃ろうネットワーク市民公開講座	多摩市立関戸公民館8階大会議室	6人	40人一般市民 ケアマネジャー・歯科衛生士 介護職・看護師 栄養士・薬剤師 言語聴覚士・	0
	在宅胃ろう交換の普及啓発	講演会開催	参加施設	実施6施設と地域の関係者	100人 同上	
摂食嚥下に関する事業	摂食嚥下評価に関するセミナー開催により	多摩胃ろうネットワーク市民公開講座	オリンパスホール八王子リハーサル室	6人	50人一般市民 ケアマネジャー・歯科衛生士 介護職・看護師 栄養士・薬剤師 言語聴覚士・	0
	摂食嚥下障害や胃ろう造設に伴う栄養剤使用に関する意見交換	摂食嚥下班会議において約3ヵ月毎	新天本病院会議室	10人	40人 同上	

地域連携に関する事業	仮称『患者さん見守り情報交換システム』のテストラン。 (胃ろうと摂食嚥下に特化して対象を決め在宅療養支援への実用化を図る)	摂食嚥下班会議において検討(約3ヵ月毎)	新天本病院会議室	10人	60人 同上 ワンダーワークスK.Kとの共同事業システム参加に同意された患者家族	
	平成26年度厚生労働科学研究費補助金長寿・障害総合研究事業「高齢者の摂食、栄養に関する地域包括的ケアについての研究」多摩地区のマップ作成に参加する	摂食嚥下班会議実施時に随時検討する	新天本病院会議室			
	開設するポータルサイトに管理ページを設けメーカーに貸与 メーカーが持つ商品情報や栄養管理データなどの情報提供及びPR	随時	HPサイト内	3人	ホームページ閲覧者 年間4000件から10000件 賛助企業	
	栄養剤メーカーのサンプリングやニーズ調査受託	摂食嚥下班会議において随時	新天本病院	10人	ホームページ閲覧者 賛助企業	

□